

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成21年度 第1回武蔵村山市公民館運営審議会
開 催 日 時	平成21年6月30日（火） 午後2時～午後4時
開 催 場 所	さくらホール（市民会館）会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：荻野議長、福田副議長、齋藤委員、本村委員、金沢委員、嶺岡委員、鈴木委員、鴻田委員 事務局：生涯学習スポーツ課長、生涯学習グループ主査・主事 欠席者：高橋委員、岩瀬委員
議 題	1. 平成22年度公民館講座について 2. その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	審議経過（主な意見）のとおり
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>報告事項1. 第4回武蔵村山市公民館運営審議会会議録について 報告事項2. 平成20年度公民館講座実施報告について 報告事項1・2について、生涯学習グループ主査より別添会議資料に沿って説明。 質問等、特になし。</p> <p>報告事項3. 平成21年度公民館講座実施予定について 報告事項3について、生涯学習グループ主査より別添会議資料、追加資料1・2に沿って説明。 主な質問・意見等</p> <p>・武蔵村山市リーダー研修会について (委 員) 5/15号市報に、募集の記事が載っていたが、応募状況はどうなっているのか。 (事務局) 定員35名には達しておらず、現在25名の参加となっている。 (委 員) 42.195kmの徒歩旅行では、参加者が体調不良になった場合等はどのようにするのか。 (事務局) まずは、バックアップで常に同行している車に乗せる等、様子を見、必要に応じて病院等へ連れていくことも考えられる。 (委 員) “リーダー研修”というネーミングと実際の活動内容があっていないのではないか。このようないわゆる野外活動を主体としたカリキュラムが、果たしてリーダー養成なのかという疑問がある。いわゆる“リーダー養成”を目指すのであれば、この内容はどうか。また逆に、この内容であれば“リーダー研修”という名称はどうか。 (事務局) 目的としては、将来的に活動していくことのできるリーダーを養成するということであり、毎年このような野外活動を主体としたカリキュラムで実施してきた。今後は、市の事業などへもボランティア等として活躍してもらえたらと考えている。特に42.195kmを歩く徒歩旅行では、様々な出来事を通じて、他者を思いやる事のできるリーダーとして育ててくれたらと考えている。</p>

21 年度のリーダー研修会の実施要項については、会議資料のとおり、昨年度に引き続いて 42.195km を歩く徒歩旅行を核としたカリキュラムで実施する予定である。また、今年度は委託事業ではなく、市教育委員会主催事業として実施し、受講生の指導については講師に依頼します。しかしこれからのリーダー研修会のあり方について検討するため、「地域活動のリーダーを養成する」という目的のためには、どのようなカリキュラムが必要とされるか、改めて委員の皆様の意見をうかがいたい。

(委員) 確かにこのカリキュラムの内容であれば、もっと別のタイトルをつけた方が良いでしょうにも思う。このような野外活動を主体とした内容で実施するのであれば、そういったことに興味のある生徒がより多く来るだろうし、その場合はリーダー研修というタイトルでは、あまり人が集まらないと思う。“リーダー研修”というタイトルからは、いわゆる生徒会活動に参加している生徒などを対象とする印象を与えがちであり、タイトルと実施内容にズレがあるように感じる。

(事務局) 教育委員会としても、現在リーダー研修会の修了生が実際に市や市教育委員会の事業に積極的に参加する等、リーダーとしてどのような活躍をしているのか、またリーダーとして活躍する人材を養成するために、どのようなカリキュラムが必要なのか。カリキュラムを一から見直そうと考えています。そこで、委員の皆様には、これまでの野外活動を軸としたカリキュラムにとらわれることなく、さまざまな意見をお出しいただければと思います。

(委員) 徒歩旅行では、それぞれが荷物を持って歩くのか。

(事務局) 2泊3日のキャンプで、移動中は原則として自分の荷物は自分で持ちます。

(委員) 荷物を持って 42.195km 歩くのはこの世代の子供にとっては、かなり厳しい。普段あまり運動していない子にとってはなおのことである。

(事務局) 昨年度の実施状況としては、小学生は 30km、中学生以上が 42.195km を歩いている。真夏の暑い時期ではあるが、参加者全員が踏破している。

(委員) 水分補給等、参加者の健康には充分留意していただきたい

・家庭教育講座について

(委員) 家庭教育講座では「パパと子どもの夏休み」と題して、村山の郷土食である村山うどんの手打ち体験教室を実施するとのことだが、これを親子ではなく、なぜ父親に限定したのか。

(事務局) 家庭教育講座で親子体験教室を実施すると、対象を限定してなくても、母子で参加する受講生がほとんどである。なかなか父親が参加するケースが少ない。そこで、夏休みの土曜日という、比較的男性も休みを取ることのできる時期に父子を対象とした体験教室を実施することで、父子のコミュニケーションの機会を提供し、子供に対する父親の理解を深めるのがこの講座の狙いである。

(委員) しかし、家庭教育講座の対象が父子限定というのは、母子家庭の世帯に対してはどのような対応をとるのか。

(事務局) 対象は「小学生とその男性保護者」という表現になっており、保護者となりうる男性と参加していただけたらと考えている。

- (委員) 確かに表記が「男性保護者」となっていたので、恐らく何らかの形で配慮をしているとの印象は受けた。
普段接する機会の少ない、父親と子供のコミュニケーションの機会をとという狙いがあるとのことだったが、確かに仕事を持つ親と子供が接する機会は多くはないが、より深刻な状態にあるのは、母子家庭で母親が仕事をしている場合であると思う。
- (事務局) 近年“男性が参加できる講座”に対するニーズは意外と高く、そういった意見の中には、女性とっしよの講座に参加するのは気後れするといった声もあり、実際に昨年度実施の親子教室の受講生は、ほとんどが母子でなかなか父親が参加していない現状がある。そこで今年度は思い切って、受講対象を小学生と男性の保護者としたわけである。
- (委員) しかし、父子だけを対象とした講座を教育委員会主催で実施することについては、配慮が必要である。小学校ではかつては“父親参観”があったりしたが、今では“保護者会”という名称を使い、父親、母親の区別などはしていない。デリケートな問題であり、学校現場では相当の配慮をしている。すでに企画の進んでいる事業なので、大幅な変更は難しいと思うが、表現方法等検討していただきたい。
- (委員) 確かに、タイトルの「パパと子供の夏休み」というフレーズもインパクトがあり、着眼点としては面白いと思う。
- (事務局) タイトル等については検討いたします。

報告事項 4. 公民館講座の電子申請について

報告事項 4 について、生涯学習グループ主査より今年度から公民館講座の電子申請の試行を導入することについて説明。

主な質問・意見等

- (委員) 電子申請といっても、申請方法がパソコン等を使用したシステムを使ったものだけになるのではなく、従来のハガキ、電話等を使った方法と併用の形にしてほしい。そうでないと、パソコンを使えない人は申し込みができなくなる恐れがある。
- (委員) 特に公民館利用者などは年配の方が多く、電子申請を利用しない方が多い。
- (事務局) もちろん電子申請だけというわけではない。より多くの方が気軽に手軽に申請を行うことができるよう、従来の方法に加えて電子申請も試行するということである。
- (委員) また、誤申請の問題がある。他市の事例で、予約時のシステムの操作ミスで、予約したつもりで予約がとれていないなどのトラブルの話が耳にすることがある。何度も確認画面で確認する等の対策が必要である。
- (委員) 確認画面が多すぎても、申請が面倒だなどといった苦情がくる可能性が考えられる。
- (事務局) これまでの意見を踏まえ、公民館講座の申請について、本年度はシステムの試験運用の導入を行います。

議題 1 平成 22 年度公民館講座について

議題 1 について、事務局より会議資料に沿って説明。

- (議長) 平成 22 年度公民館講座について、意見をお願いします。
講座の細かい区分には捉われずに、大まかな年間計画について議論を進めたいと考えています。

	<p>(事務局) 公民館運営審議会は年間4回の開催を予定しているので、第4回の会議までに、意見をまとめていただきたい。</p> <p>(委員) 昨年度実施した「心と体を元気にする健康セラピー教室」に、私も参加したが、大変好評であった。このような講座を継続的に実施することは可能か。</p> <p>(委員) ジャンルごとに、講座を企画していくのはどうか。健康に関する講座、料理に関する講座、また子供を対象とした野外学習の講座など、様々な講座が必要であると思う。</p> <p>(委員) 具体的な細かい企画案については、次回会議でもよいか。</p> <p>(事務局) 次回でかまいません。</p> <p>(議長) それでは、次回会議までに平成22年度公民館講座についての意見を、各自で整理してくることとする。</p> <p>(事務局) 特にリーダー研修会の実施方法については、リーダーを養成するためになにが必要なのかといった、基本的なことから再精査しようと考えていますので、ぜひご意見をお願いいたします。</p> <p>議題2 その他 特になし。</p> <p>次回の会議日程について 委員の日程調整の結果、9月29日(火)午後2時に決定する。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： <u> 0 </u> 人
-------------	---	---------------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課 (内線：652)
-------	------------------------------

(日本工業規格A列4番)